

大洗の海で極上の味を採ろう 「観光地引き網」開催！

5月5・6日の2日間、大洗サンビーチ海岸で「観光地引き網」が開催されました。青い海と広いサンビーチ海岸の浜辺で、約3,000名の家族連れなどが地引網を楽しみました。参加した子供たちは網に掛かった魚に興味津々。採れたての新鮮な魚と干物の炭火焼きを持ち帰り、大洗ならではの観光地引き網を満喫しました。



こどもの日わくわくフェスタ

5月5日、大洗わくわく科学館でこどもの日わくわく科学フェスタが開催されました。

こどもの日にちなんだ工作として、折り紙カブト作りやこいのぼり、野菜てっぼう、ミラージュエリー、記念撮影会などのイベントで盛り上がりました。また、当日はお天気もよく約3,800人のお客様が来館し大変賑わいました。

おいしいお米に育ててね!! 田植えの体験学習

5月7日(水)、大洗かめ保育園児くじら組41人が、食育計画の一環として田植えの体験学習に取り組みました。今回の田植えは6年目、子どもたちは、田んぼのぬるぬる感を楽しみながら保護者と一緒に一生懸命苗を植えていました。秋には稲刈りも行います。子どもたちは「米の収穫がとても楽しみ!」と泥だらけになりながら爽やかな笑顔を見せていました。



「はまひるがお」を咲かそう!



かれんに潮風に揺れる淡いピンクの「はまひるがお」。はまひるがおを咲かそう事業は、はまひるがおを保護し多くの方に知っていただく活動を始め7年目となります。その成果が花開き、年々咲く場所も広がっています。

5月12日、ボランティアの皆さんにより群生地11カ所に、目印看板を設置しました。開花時期は5~6月いっぱいです。みごとに咲き誇る、はまひるがおをぜひ浜辺でご覧ください。

【はまひるがお群生地】 水辺プラザ 大洗海岸駐車場下 メヒコ駐車場前 大洗町観光情報センター下 海藻組合入口 田崎鉄工所前 大洗文化センター・中央公民館南側 遊歩道の所 役場玄関 車庫の前 魚釣り公園の北側 つるかめ・味ごよみ宮田前(大貫町) ひたち野下 夏海海岸



大洗第一中学校男子チーム

大洗一中男子 準優勝！ 第12回大洗町近郊中学校バスケットボール大会

5月10日(土)・11日(日)の2日間、大洗町総合運動公園及び大洗第一中学校を会場に開催されました。大洗町近郊の男女それぞれ12校が参加し、熱戦が繰り広げられました。

男子は、一中が見事なゲーム運びで準決勝を勝ち上がりましたが、一步およばず惜しくも準優勝となりました。女子は、一中・南中が3・4位決定戦で直接対戦することになりました。制限時間では決着がつかず延長となり、一中が勝利しました。

【男子】優 勝	友部第二中学校	【女子】優 勝	那珂湊中学校
準優勝	大洗第一中学校	準優勝	梅香中学校
3 位	岩瀬東中学校	3 位	大洗第一中学校
4 位	大洗南中学校	4 位	大洗南中学校

第12回大洗町民ゴルフ春季大会結果！

4月21日(月)、大洗ゴルフクラブにて「第12回大洗町民ゴルフ春季大会」が開催されました。結果は下記の通りです。

【総合の部】優 勝	菅谷 良弘	【女子の部】優 勝	関根美恵子
準優勝	小松崎 実	準優勝	小沼もも子
3 位	友部六合彦	3 位	菅原 善子
【シニアの部】優 勝	小沼 一寿		
準優勝	皆藤 晋		
3 位	臼井恵太郎		



小谷町長(左)と総合の部優勝の菅谷さん



第15回全国クラブチーム サッカー選手権茨城県大会 FCヴェレン大洗トップチーム 準優勝！

4月6日～29日に行われた、全国クラブチーム選手権茨城県大会にて、FCヴェレン大洗トップチームが初出場準優勝になりました！トップチームは、小・中学生メンバーを指導する大学生・社会人で構成されています。準決勝・決勝はスタンドに150人ものメンバーや保護者の大応援団がかけつけ、クラブ全体で盛り上がりました！

きれいな涸沼を目指し「セイゴの稚魚放流」

5月15日(木)、大洗地区涸沼浄化対策協議会主催による稚魚放流事業が、涸沼の松川漁港において町立第一保育所とかもめ保育園の園児、保護者130名の参加により実施されました。

当日は、朝から晴天に恵まれ、小野瀬優会長・小谷町長のあいさつに続き、茨城県環境アドバイザーの廣瀬 誠先生から「涸沼の生物について」のお話を聞き、その後、園児と保護者が一緒になり、セイゴの稚魚約350匹を「大きく育て」と願いをこめながら放流しました。



わが家のアイドル



さいた さくら あおい
齋田 桜ちゃん(左)・葵くん
 (五反田3区 1歳・3歳)
 お父さん 祐介 お母さん さをり
 「元気いっぱい 後追いがはげしい桜ちゃんです。これからもよろしくね。」



てらしま あたる
寺島ひまりちゃん(左)・温多琉くん(中)・ひなたちゃん
 (東光台2区 2歳・1歳・4歳)
 お父さん 敏彦 お母さん 幸子
 「わが家の仲良し3姉弟です」

「私が惚れこむ大洗」

大洗が好きで、大洗に定住した方に大洗のどこが好きになったのか伺いするコーナーです。

「人と人のつながりを感じる町」

石川県出身でJAEA大洗研究開発センター勤務、磯浜町にお住まいの原田さんを紹介いたします。

Q：大洗に移住されたきっかけは何ですか？

A：大洗には昭和48年～昭和53年まで住んでいましたが、その後水戸へ移り、今年の4月末に大洗に戻ってきました。年齢も50代半ばになり、定年後の生活を考えて大洗町に来ました。また、水戸に住んでいた間も大洗の方々の付き合いの方が多かったので「定年後は大洗で住みたい」と思っていました。

Q：大洗のどこに魅力を感じましたか？

A：一言で言えば「住んでいる人達の人柄」ですね！出身が石川県で、何も知らない大洗町に来た時は色々驚きもありましたが、育ったところと同じ様な「人と人のつながり」を感じるのが好きです。

Q：大洗で一番好きな場所はどこですか？

A：まだまだ散策中です。今は、磯前神社西側の道路を鳥居の方に下っていく時の正面に広がる「海」です。

Q：町に関係した取り組み活動等がありますか？

A：昨年、大洗町を中心として立ち上がった「夢town大洗スポーツクラブ」のマネージャーとして「町の元気づくり」に貢献していきたいと思っております。

Q：町に対する要望はありますか？

A：5月の連休中、町内の道路渋滞が凄かった。考えれば観光の町であり、理解は致しますが、渋滞緩和のための道路整備をお願いしたい。



大洗町の歴史を見つめて

海水浴の歴史

2 明治時代の海水浴

明治時代に始まった海水浴は、もともとイギリスやドイツなどの西洋から導入されたもので、当初は医学の一環として開始されたものでした。医療行為としての海水浴を普及させたのは西洋医学を学んだ医者でした。海水浴は、海浜の清涼な空気を吸い込む事で気分が一新し、波や海水の塩分が体を刺激する事で、皮膚病などに効果があるとされました。明治10年代の日本最初の海水浴場というのは、医者が海浜に設けた小屋で患者を見る医療施設であったとも言われています。浴場には浴場医と呼ばれる海水浴医療を行う専門の医者が配置され、海浜で転地療法を行う浴客のために海水浴旅館が建設されるようになります。

明治10年代後半頃から全国の浜に海水浴場が開設されるようになり、その後の鉄道網の普及と共に建てられた神奈川県大磯の禰龍館における海水浴場の成功が火付け役となりました。明治20年代に入ると、全国の海浜に続々と海水浴場が開設されていきます。東京近郊の人々は休暇を出して、長期の海水浴治療を行い、中には海浜に別荘を作る人も現れ、別荘地を発達させていく事にもなります。

こうした明治20年代の全国的な流れを受けて、当時の磯浜村の大洗下にも海水浴場が作られてくるのです。

(生涯学習課文化振興係)



明治21年頃の大洗下の海水浴旅館(『国幣中社大洗磯前神社真図』より)

春満月煌々とてる海の上
落暉背に赤い椿の焰なす

大洗大使 さいたま 稲葉 峻山

暖かやジョギング少し遠くまで
咲き初む花に冷たき雨無情

東光台 田中 勝枝

〔評〕待ちわびていた桜がようやく咲き始めた。これから十分花を楽しみたい、そういう矢先に冷たい雨になってしまった。自然の神様、無情な雨ですね…

鬼怒川の春の霧なる山の宿
梅の香にしばし佇む帰り道

髭釜 小野瀬 きよ

〔評〕梅林を訪ねてそろそろ帰ろうとしたときに、よく香る梅の木に出合った。沢山ある梅の中で、これほど匂う木は外になかった。すぐには立ち去り難く、しばらく佇んでいた。

春水を蹴り白鳥の翔つ勇姿
小さき掌に舞ふ花びらを受けてをり

新町 岸和田 和子

〔評〕小さい子が可愛い掌を指しのべて、花の下に立っている。花も盛りを過ぎひと片ふた片散り始めて、風が来ると沢山降ってくる。それを受けとめようと子供は立っている。純真な姿が其処にあった。

花冷の肩より背へと及びけり
踏みまどふ靴に花屑二三片

髭釜 川崎 京子

花冷や舞巫女しかと鈴握る
靖国に風紋となり花の屑

小松崎 美代

八重冬至梅香しく日の中に
枝垂る花過ぎゆく人の肩に触れ

角一 鈴木 さた

老ひてゆく体いたはり耕せる
ランドセル子をつまずける春嵐

金沢町 猿田 俊子

老木も若木もなべて梅三分
北西の風に白波春の湖

永町 浅見 三千子

枝先に生命溢れる柳の芽

桜道 上野 君枝

なんとなく春の気配や木瓜の花

東光台 大谷 義治

さくらはねうすいピンクできれいだね

小一 かつぬま なつみ

たんぽぽのわたとんでったあおいうみ

小一 川崎 綸

どらやきをばくばくたべるはるのひる

小一 さとつ 成

たんぽぽの花束ママのたん生日

小三 川崎 理子

選者吟

花急に何処に足を運ぶべき
靖国の春に声なき声を聴く
耕人の広き畑に只一人

ぼくとわたしの

ちびっ子ギャラリー



ひじり保育園さくらぐみ
切り紙であじさいと
かたつむりを作りました

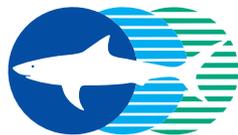
アクアワールド大洗の仲間たち

水中の花吹雪 - チダイ -

水族館の入口付近の大洗の海No.2水槽にはチダイの群れを展示しています。チダイと言うよりはハナダイやカスゴ（春子）と呼んだ方が馴染みがあると思います。茨城県沿岸では冬から桜の咲く春にかけて多く漁獲され、桜の花のような色からハナダイ、また春に小型の個体も多くみられることからカスゴ（春子）と呼ばれているようです。それでは、なぜチダイという名があるのでしょうか？それは、えらぶたの縁が血のように赤いのでチダイ（血鯛）という名前が付き、それが標準和名（全国共通の名前）となっています。



よくマダイと比較されますが、えらぶたの縁の色の差（マダイは赤くない）と、尾ビレの後ろ側の縁がマダイは黒いのですがチダイは黒くないことで違いがわかります。またマダイは成長すると全長1m位にはなりますが、チダイは全長40cmほどにしか成長しません。このことをヒントにぜひ当館でチダイとマダイを比べてみて下さい。



アクアワールド・大洗

<http://www.aquaworld-oarai.com> TEL 029-267-5151

健康づくりコーナー
お元気ですか？ 保健師です



未来のお母さんと赤ちゃんをみんなのやさしさでサポートしましょう！

マタニティマークを知っていますか？

妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、お母さんの健康を維持するためのとても大切な時期です。しかし外見からは、妊婦であるかどうか判断しにくかったり、「つらい症状」がある場合もあります。

もしもこのマークを付けているお母さんを見かけたら、皆さんからの思いやりある気遣いをお願いいたします。

大洗町では20年4月から、母子手帳と一緒にこのマークの「マタニティキーホルダー」をお渡しています。

外出先で手助けされたり勇気づけられたりしてうれしかったこと

- 1位 バスや電車で席を譲ってくれた
- 2位 ベビーカーを運んでくれた / たたんでくれた
- 3位 子どもをあやしてくれた / 話しかけてくれた

